

LIVE YOUR  
UNEXPECTED  
LUXEMBOURG

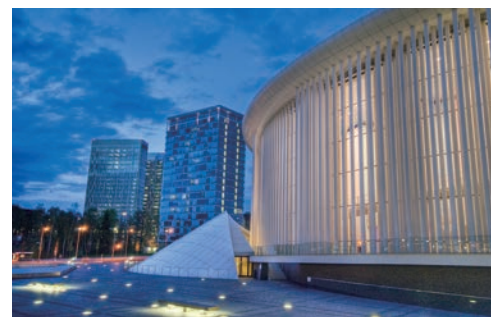
感動の体験を ✨  
ルクセンブルグで


VISIT   
LUXEMBOURG



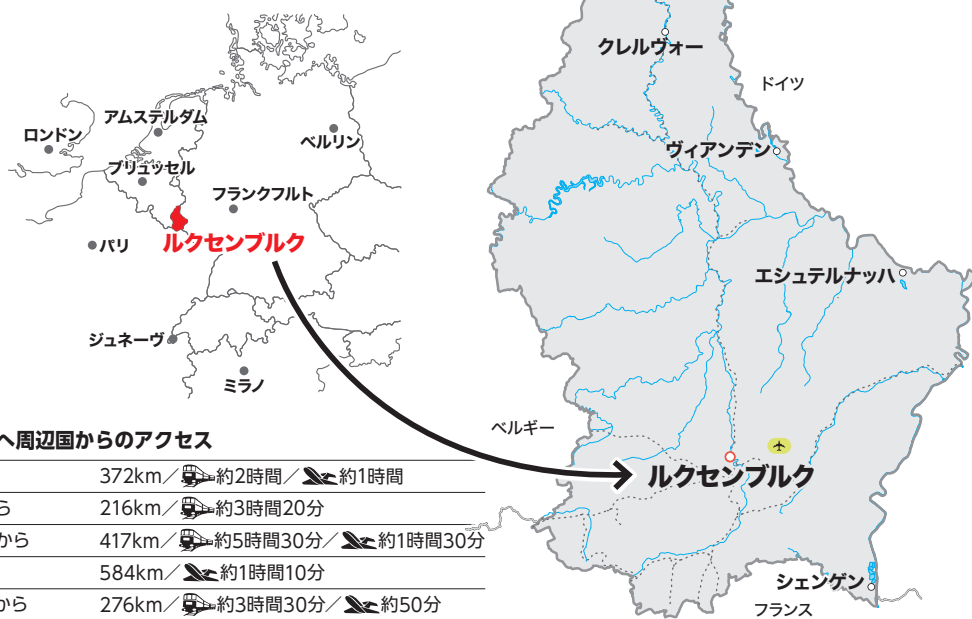
# ルクセンブルクはこんな国

世界で唯一の大公国ルクセンブルク。  
西ヨーロッパの中心に位置する緑豊かな国。  
金融業やIT産業が盛んで世界で最も豊かな国のひとつでもあります。



- 正式国名 ———— ルクセンブルク大公国 Grand Duchy of Luxembourg
- 面積 ———— 約2,586km<sup>2</sup> (神奈川県とほぼ同じ)
- 人口 ———— 約59万人(2017年1月)
- 首都 ———— ルクセンブルク市(人口約11万4000人、2017年1月)
- 元首 ———— アンリ大公 Grand-Duke Henri (2000年10月即位)
- 国旗 ———— 
- 政体 ———— 立憲君主制。12のカントン(州)によって構成されています。
- 宗教 ———— ローマ・カトリック(87%)、その他(13%)
- 言語 ———— ルクセンブルク語、フランス語、ドイツ語が公用語として用いられています。英語も通じます。
- 経済状況 ———— EU加盟国の中でも失業率、インフレ率とも低く、財政状況もEU内で最も健全な状態を保っています。主要産業は金融業、鉄鋼業、化学工業、機械部品製造などで、近年は金融業への依存を脱するため、IT、バイオ・環境技術、宇宙産業など新しい産業支援にも力を入れており、多くの企業が進出しています。地理的にヨーロッパの主要都市にアクセスしやすいため、物流などロジスティクス産業にも力を入れ、多くの企業がヨーロッパの拠点を築いています。

- 歴史 ———— 963年、ルクセンブルク家の始祖ジークフロイト Siegfroid伯爵が、現在「ボックの砲台」と呼ばれている場所に砦を築いたのが国の始まり。とはいえ独立国として存在したわけではなく、長年にわたり多くの強国の支配下に置かれていました。  
転機になるのが1815年。ナポレオン戦争後のウィーン会議で、ネーデルラント連合王国のひとつとしてオランダ国王が大公を兼ねる大公国として独立を果たします。  
そして1839年、ベルギーが連合王国から独立する際、ルクセンブルクも独立国としての歩みを始めました。1867年には永世中立国となり、後にオランダ国王の死去に際し同君連合を解消し、1890年に完全な独立を果たします。その後ふたつの大戦時にはドイツに占領されましたが、戦後は中立政策を放棄して西ヨーロッパのメンバーとしてNATOに加盟。後のEU(ヨーロッパ連合)の原型となるECSC(欧州石炭鉄鋼共同体)には創立メンバーとして参加しています。  
その後もEUの本拠地のひとつとして発展し、現在でも欧州議会の事務局本部、欧州司法裁判所などのEU主要機関が置かれています。1985年、加盟国間国境でのパスポート検査を廃止したシェンゲン協定が締結されたのもここルクセンブルクです。



上から、北西部の国立公園の湖/サイクリングは人気のアクティビティ。専用道路も多数整備されている/高低差があるルクセンブルクの旧市街を下から眺める/ルクセンブルクフィルハーモニー管弦楽団の本拠地/東部モゼル川沿いはワインの産地



# ルクセンブルク市の見どころ

かつて城壁に囲まれていた旧市街の中心地が世界文化遺産に登録されているルクセンブルク。国名と同じ名前の首都は最大の街ですが、見どころがコンパクトにまとまっていて、街の雰囲気味わいながら、のんびり歩きながら観光するには絶好の場所です。



## ① ギヨーム2世広場 Place Guillaume II

街の中心にある広場で、歩いて数分のところにあるアルム広場とともに、周辺にはホテルやレストランが並んでいます。毎週水曜日と土曜日にはマーケットが開かれる賑やかな広場で、観光案内所もあるので、ここから観光を始めるのもいいでしょう。



左/広場では定期的にマーケットが開かれる 右/馬上のギヨーム2世の勇壮な銅像が広場を見下ろしている



## ② ルクセンブルク市歴史博物館 Musée d'Histoire de la Ville de Luxembourg

旧市街の一角にある古い建物にある博物館で、街の歴史を知るには一番のスポット。政治、社会、文化の1000年にわたるルクセンブルクの街の変遷が、マルチメディアを駆使した展示でわかりやすく紹介されています。



常設展示だけでなく定期的に更新される特別展も充実している

## ③ 大公宮殿 Palais Grand-Ducal

ギヨーム2世広場のすぐ東にある16世紀に建てられた建物。最初は市庁舎として、後に大公の邸宅として利用されました。現在は公的な行事が行われるだけの場所で、内部の見学が可能です。衛兵交代を見ることもできます。



見学ツアーの申し込みはギヨーム2世広場の観光案内所で

## ④ ノートルダム大聖堂 Cathédrale Notre-Dame

17世紀に建立されたイエズス会の教会。天にまっすぐ伸びる3つの尖塔をもった教会は街のシンボルのひとつです。内部の美しく荘厳なステンドグラスは必見です。



現在の教会の建物は20世紀に入って増築されたもの



## ⑤ ボックの砲台 Bock Casemates

ルクセンブルク発祥の場所。1000年以上前に、アルゼット川を見下ろす位置に建設された要塞で、その後何度も改修が行われて堅固な砦になりました。断崖に開けられた砲台から谷を挟んで旧市街の素晴らしい景色が楽しめます。



この場所に行くには迷路のような地下通路を通過していく

## ⑥ グラン・リュ Grand Rue

市中心部を東西に横切るグラン・リュは、街で一番賑やかな通り。世界的ブランドのショップから個人経営の小さなブティック、カフェ、レストランなどが軒を連ねています。ウィンドウショッピングを楽しみながら、ゆっくり歩きたい通りです。



歩行者専用道でのんびりショッピングが楽しめる

市内観光モデルルート

〈9:00〉

**ギヨーム2世広場**  
Place Guillaume II  
観光案内所で街の地図をも  
らって街歩きスタート。

〈9:05〉

**大公宮殿**  
Palais Grand-Ducal  
夏の間は館内を巡るガイドツア  
ーを行っています(要申込み)。

〈10:30〉

**ノートルダム大聖堂**  
Cathédrale Notre-Dame  
大公や皇太子の婚礼が行われ  
ました。ミサの最中は入場不可。

〈11:00〉

**ルクセンブルク市歴史博物館**  
Musée d'Histoire  
de la Ville de Luxembourg  
城壁に囲まれた、かつての街の  
姿が再現された模型は必見。

〈14:00〉

**ボックの砲台**  
Bock Casemates  
街の歴史を実感できる場所。足  
下には緑の深谷が広がります。

〈15:00〉

**キルシュベルク地区**  
Kirchberg  
旧市街からバスで10分。現代  
アートのコレクションで名高い  
MUDAMやEU機関の建物など  
のモダンな街並みが楽しめます。

## ルクセンブルク カード

お得な旅行をするならぜひ手に入れたこのカード。1日券、2日券、3日券があり、国内60以上のミュージアムや観光施設の入場が無料、公共交通機関(鉄道は2等)が乗り放題となります。無料アプリをダウンロードすると、便利な機能が満載。有料版を購入するとすぐにカードが使えます。





# その他の魅力的な街

ヨーロッパ有数の工業国でありながら、ルクセンブルクはとても緑が豊かな国です。高い山こそありませんが、なだらかな丘が続く丘陵地帯や渓谷周辺には自然公園もたくさんあります。ルクセンブルク市から離れると、その濃い緑の中に魅力的な小さな街が散在しています。



上/世界無形文化遺産に登録されている「踊りの行進」 中/街の中心に立つ修道院 下/街の周囲には豊かな自然が広がる



ルネサンス様式の美しい城は第二次世界大戦後再建された

## クレルヴォー Clervaux

大公国北部ドイツとベルギーに挟まれたアルデンヌ地方にある街で、街を見下ろす丘の上に12世紀に建てられた美しい城がそびえています。この城は、ルクセンブルク出身の世界的な写真家エドワード・スタイケンが1955年にニューヨーク近代美術館で企画した「ザ・ファミリー・オブ・マン」展の出品作品が常設展示されていることで知られています。同写真展は後世に大きな影響を与えたことから、その作品群はユネスコ世界記憶遺産に登録されています。



左/国内有数の威容を誇るヴィアンデン城。大公が外国からの賓客をもてなす際にも利用される 右/ヴィクトル・ユーゴー博物館

## エシュテルナツハ Echternach

変化に富んだ自然景観が美しい「小スイス地方」と呼ばれるエリアにある街で、ルクセンブルクの人たちにとっての保養地であり、建国の祖ジークフロイト伯爵のゆかりの地。街の中心にある大きな修道院が一番の見どころです。15世紀末から続く「踊りの行進（ダンシング・プロセッション）」は、毎年街の人口の倍以上の人が集まる人気のイベント。



## ヴィアンデン Vianden

ルクセンブルク有数の名城があるウール川が流れる渓谷にある街。高台から街を見下ろすように建つヴィアンデン城は、ローマ時代には既に城として存在していたと言われており、現在ある城は10世紀頃に築かれました。この街はフランスの文豪ヴィクトル・ユーゴーが何度も過ごしたところで、彼が滞在していた宿は現在ヴィクトル・ユーゴー博物館になっています。



上/3か国の国境に面したシェンゲンの街。モーゼル川を渡れば、南にフランス、北はドイツ 中/シェンゲン協定の記念碑 下/協定調印の様子

## シェンゲン Schengen

ブドウ畑に囲まれたモーゼル川に面した小さな街は、1985年にここで締結された「シェンゲン協定」により、世界に知られるようになりました。加盟国間の国境を審査なしに越えることができるようにしたこの協定により、後にヨーロッパに人口4億人を超える巨大な市場が誕生し、EUの誕生につながっていきます。街自体は今も小さなままで、周辺のワイナリーを訪れたり、3か国の国境を歩いて渡ったりと、のんびり過ごすにはとてもいいところ。2015年に協定発足30周年を記念したヨーロッパ博物館がオープンし、街の見どころになっています。



ここで撮りたい！  
ルクセンブルクの  
フォトスポット3選



## View from Bock ボックの砲台から眺める ルクセンブルクの街

ルクセンブルクの中心は高台にあります。街を歩いてもなかなかそれが感じられませんが、かつての城塞の壁に穿たれた穴から眺めると、高低差が激しい街の様子がよくわかります。



## Esch-sur-Sûre 川に囲まれた街 エッシュ・シュール・シュール

ルクセンブルク市から北へ約50km、大きく蛇行したシュール川に囲まれた街は、中心に10世紀に建てられた古城がそびえます。川の北側に広がる森の中の小道を歩いて撮影スポットへ。



## View of 3 Countries at once in Schengen 一度に3か国が望める シェンゲンの丘

シェンゲンの街から見るモーゼル川の何の変哲もない風景ですが、橋を渡って、橋の右側がフランスで左側がドイツ、そして川の手前の土地がルクセンブルクです。



# アクティビティを楽しむ

なだらかに波打つ丘と豊かな森が広がる大地。とても穏やかに見えるルクセンブルクの自然ですが、一歩その中に立ち入ってみると、多くの湖や川、そびえる岩山などがある、変化に富んだ風景に出会うことができます。アクティビティは、そんな多彩な自然に触れる一番の方法です。



## サイクリング Cycling

国内には整備された自転車用の道路が約600kmあり、その距離は現在も伸び続けています。さらにマウンテンバイク用のトレイルの総延長は700km。小さな国ながら、実はヨーロッパに冠たる自転車大国なのです。たくさんのモデルルートが用意されており、レンタル自転車も充実しているので、気軽にサイクリングを楽しむことができます。



## 熱気球 Hot Air Balloon

空から風景を眺めるユニークな手段が熱気球。ブドウ畑が広がる東部モーゼルのエリアで楽しめます。気候や天候にフライトの条件が左右される熱気球ですが、ここでは春と夏は早朝か夕方、秋と冬は日中に行われます。フライトの時間は約1時間。



## ハイキング Hiking

豊かな自然だけでなく、小さな村や物語に出てきそうな古城が、美しい風景の中に点在するルクセンブルク。川や湖沼が多かったり、荒々しい岩山が連なっていたり、のどかなブドウ畑の風景が広がっていたりと、地域ごとに特徴があります。20もの国定ハイキングルートがあり、それ以外にも無数のトレイルが縦横に広がっています。どこも路面や標識がしっかり整備されています。



## クルージング River Cruise

国内には大小多くの川が流れており、そのほとんどがモーゼル川を経由してライン川に流れ込むライン水系の河川です。国全体が比較的平坦であるため、どの川の流れも穏やか。小さな川ではカヤックやカヌーが楽しめ、ドイツとの国境を流れる大河モーゼル川では、リバークルーズが盛んです。ゆったり進む船の上から、川沿いに広がるのどかなブドウ畑の風景が眺められます。

# イベントに参加する

世界唯一の大公国として歴史を刻んできたルクセンブルク。ここでは何世紀もの間続いてきた伝統の祭り、音楽やアートに関するフェス、スポーツ大会など、1年を通じてさまざまなイベントが行われています。



## Schueberfouer シューパーファウア [移動遊園地] (ルクセンブルク)

毎年8月下旬から9月上旬にかけて開かれる巨大な移動遊園地。250以上のアトラクションがあり、訪問者数は200万人を越える一大イベント。その規模だけでなく歴史も長く、イベントの元になったマーケット(交易市)は1340年にまで遡ります。



## Medieval Festival of Vianden 中世祭り(ヴィアンデン)

11世紀から14世紀に建設された古城を中心に、7月終わりのヴィアンデンの街全体は中世の世界に変貌します。中世の衣装をまとった人々の行進やパフォーマンス、さまざまな料理の屋台など見どころがいっぱい。甲冑を身に付けた騎士の対決はハイライトのひとつです。



## National Day ナショナルデー(ルクセンブルク)

6月23日は大公の誕生を祝う日。前日の22日からパレードや花火など、華やかなイベントが行われます。現在の元首、アンリ大公の誕生日は4月16日。通常、国王や元首の誕生日を祝日とすることが多いですが、1961年から6月23日に固定されています。



## Dancing Procession 踊りの行進(エシュテルナッハ)

7世紀の終わりにこの街に修道院を建てた聖ウィリブロードは、ここで亡くなり埋葬されました。彼の墓で奇跡が起こったという噂は多くの巡礼者を集め、15世紀には今のよう「踊りの行進」が記録されました。ユネスコの世界無形遺産に登録されているこのイベントは毎年聖降臨祭の次の火曜日に行われます。



## ING Night Marathon ナイト・マラソン(ルクセンブルク)

ヨーロッパのマラソンシーズンの終盤を飾るシティ・マラソン。レースだけでなく一緒に行われるイベントもとても華やか。レースのスタートが夜の7時というのもユニークです。

## Christmas Market

クリスマス・マーケット(ルクセンブルク他)

毎年11月の下旬からクリスマスイブの日まで、寒い冬を温かい気持ちにしてくれるクリスマス・マーケットは国内の各地で開かれます。市内ではアルム広場などに賑やかな市が立ち、美しいイルミネーションが飾られます。





# ショッピング

旅の楽しみのひとつはショッピング。ルクセンブルクの中心部にはメインストリートであるGrand Rueグラン・リュを中心に、世界の有名ブランドのブティックをはじめ、地元産品の専門店まで、多種多様なショップが集中しており、効率良いお店巡りができます。



## ワイン

東部のモーゼル川沿いは上質なワインの生産地。生産量が少なくほとんど国内消費されてしまうため、国外ではなかなか味わうことができません(次ページ参照)。

## チョコレート

ナミュール(Namur)やオーバーバイズ(OBERWEIS)など、大公宮御用達のパティスリーの高級チョコレートは、誰もが喜ぶ定番のおみやげ。お菓子では、マカロンやバウムクーヘンなども人気です。

## ペッカフェルチェン(鳥の土笛)

ちょっとユニークなおみやげにおすすめ。ルクセンブルクらしい民芸品です。

その他ハチミツ、マスタードなどの食品、Eau-de-vie、Cassero、Maagbitter Buffnなどのお酒もいろいろあります。



## ルクセンブルクハウス



政府による「Made In Luxembourg」コンセプトにしたショップ。代表的なおみやげ以外にもファッションアイテム、アクセサリー、デザイン雑貨、アート作品、書籍など幅広い「Made in Luxembourg」商品が販売されています。

図2, rue de l'Eau L-1449 Luxembourg City  
TEL 352 26 26 27  
URL www.luxembourghouse.lu

# 食の楽しみ

世界中から人が集まる土地柄、各国料理を楽しむことができます。北西部に多い郷土料理はドイツの影響を受けており、レストランやパティスリー等ではフランスの影響を色濃く受けています。料理と同じく世界各国のワインも味わえますが、モーゼル川流域で生産されるルクセンブルク産ワインを味わってみましょう。

## ルクセンブルクの料理

ドイツとフランス、ベルギーといずれも独自の料理を育んできた国に囲まれているルクセンブルク。多くの食文化に触発され様々な料理を楽しむことができます。国民1人当たりのミシュランの星は世界一で、フランスやドイツからわざわざ国境を越えて自国の料理を食べに来る人がいるほど、クオリティの高い料理が味わえます。

### ■2017ミシュランガイド 掲載レストラン

星	店名	所在地
★★	Mosconi	Luxembourg City
★	La Cristallerie	Luxembourg City
★	Favaro	Esch-sur-Alzette
★	La Distillerie	Bourglinster
★	Léa Linstler	Frisange
★	La Gaichel	Eischen-Gaichel
★	Clairefontaine	Luxembourg City
★	Le Patin d'Or	Luxembourg-Kockelscheuer
★	Ma Langue Sourit	Mouffort
★	Toit pour Toi	Schouweiler
★	Guillou Campagne	Schouweiler

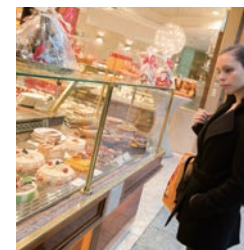


## ルクセンブルクのワイン

日本にはあまり輸入されていないために知名度は低いです。ルクセンブルクはおいしいワインの産地としても有名です。南東部、ドイツとの国境を流れるモーゼル川に沿って40km以上もブドウ畑が続き、2000年以上前からワイン造りが行われてきました。「モーゼルワイン」と聞くと、ドイツのものというイメージがありますが、ここでも高品質のワインが生産されています。リースリングやピノ・グリ種のブドウを使った辛口白ワインが多く、クレマンと呼ばれるスパークリングワインも人気があります。

## チョコレート&スイーツ

老舗から新進気鋭のパティシエのいる店まで、ルクセンブルクのスイーツはヨーロッパ有数のレベルの高さを誇ります。また日本とのゆかりも深く、例えばルクセンブルクの大公宮御用達のパティスリー「オーバーバイズ」では、1980年代半ば以来日本人パティシエの研修を受け入れてきました。「アン・プチ・パケ」の及川太平洋氏、「シュークレー」の佐藤均氏をはじめ、有名パティシエがその名を連ねています。







## 旅行お役立ち情報

- 通貨と為替レート —— 通貨単位はユーロ、補助通貨単位はセント。1 = 100 セント。紙幣の種類は5、10、20、50、100、200、500ユーロ。硬貨の種類は1、2、5、10、20、50セント、1、2ユーロ。
- ビザとパスポート —— ビザ: 最初のシェンゲン加盟国入国日から180日の間で、域内での滞在日数が90日以内ならビザは不要。パスポート: ルクセンブルクを含むシェンゲン協定加盟国を出国する日から3ヵ月以上の残存有効期間が必要。
- 時差とサマータイム —— 日本との時差は-8時間。サマータイム実施中は-7時間の時差になる。サマータイムは3月の最終日曜日から10月の最終日曜日まで。
- 電圧とプラグ —— 電圧220V、周波数50Hz。プラグはCタイプまたはSEタイプが一般的。
- Wi-Fi環境 —— ほとんどのホテルでWi-Fiへ接続可能。ルクセンブルク市内は公共のWi-Fiが利用できる。
- 両替 —— 銀行、郵便局、空港や主要駅、街中の両替所、ホテルなどで日本円からの両替が可能。
- チップ —— 多くのレストランやホテルの料金にはサービス料が含まれているので、必ずしもチップは必要でない。ホテルのベッドメイキングでも基本的に不要だが、荷物を運んでもらったら€1程度渡すといい。タクシーの場合、おつりの端数を渡す人は多い。
- クレジットカード —— おもなクレジットカードはほとんどの店舗で利用可能。
- 飲料水 —— ほとんどの街で水道水が飲めるものの、硬水のため合わないこともあるので、気になる人はミネラルウォーターの購入を。
- 安全とトラブル —— 比較的良好だが、駅周辺や公園内、空港では注意が必要。
- 年齢制限 —— 飲酒とたばこは16歳以上。
- 度量衡 —— 日本と同じで、距離はメートル法を使用。重さはグラム、液体はリットルを使用。